

津高東京同窓会 今後の活動について (H26.5.31 総会での説明内容)

1. 会員名簿の一層の充実

先ほど、活動報告の中でご説明しましたが、多くの卒年幹事の方にご協力いただいたお陰で、同窓会名簿は見違えるように充実いたしました。その一方で、同期会名簿を作成されていない年次や、名簿をご提供いただけなかった年次もありましたし、そもそも卒年幹事が不在の年次が全部で 14 ございます。そのため、名簿の充実が図られた年次とまだの年次とが混在しております。

名簿整備において完全を目指すことは難しいとは承知しておりますが、「空白の年次」や「著しく把握率が低い年次」を一刻も早く解消し、「ほぼ全容を把握した同窓会名簿」の整備に向けて、引き続き取り組んでまいりますので、会員の皆さまの更なるご協力をお願いする次第です。

2. 充実した、機動性のある体制の整備

東京同窓会の役員は、会長の他、特別顧問、副会長、卒年幹事（各年次若干名）、会計監査、事務局長、会計等で構成されており、その他に若干名の事務局スタッフが置かれています。

特に 6 名の副会長、80 名近い卒年幹事が任命されており、役員会を機動的に開催することは容易ではありません。また、5 名の卒年幹事がいる年次がある一方で、先ほど言いましたように、16 もの年次で卒年幹事が不在となっているのが現状です。

このような現状を踏まえ、「充実した審議が行える体制」、「機動性も備えた体制」を実現して、同窓会の活性化を目指していくために、役員会の審議に従いながら、必要があれば会則の所要の改正を行おうと考えております。

なお、これら 2 つの課題に関連して、次の〔参考データ〕をご覧ください。

A が、先ほど申しあげました「**卒年幹事が不在の 14 の年次**」です。一方、B は、「**今回の総会への出席者が無い年次**」です。なお、これは、卒年幹事がいる昭和 26 年卒以降についてピックアップしたものです。

A と B の両方に該当する、つまり「**卒年幹事が不在で、今回の総会への出席者がいない**」という年次は、C のところに書きました、昭和 50 年卒、昭和 61 年卒など全部で 13 ございます。

会員の皆さまにも、これらの年次に、例えば、ご両親あるいはご子息、ご親戚、あるいは同じ会社の先輩・後輩がいらっしゃいましたら、お声掛け、ご紹介等の形でご協力いただきたいと存じます。クラブのOB会などのツテにも期待しています。

〔参考データ〕

A. 卒年幹事が不在の年次(14)

S50 S57 S61

H04 H05 H06 H07 H08 H10

H11 H12 H14 H16 H19

B. 今回の総会への出席者の無い年次（平成 26 年 5 月 28 日時点）(30)

S29 S31 S35 S46

S50 S57 S58 S60 S61 S63

H01 H02 H04 H05 H06 H07 H08 H09 H10

H11 H12 H13 H15 H16 H17 H19 H20 H21 H22 H23

C. 卒年幹事が不在で、今回の総会への出席者の無い年次（ $A \cap B$ ）(13)

S50 S57 S61

H04 H05 H06 H07 H08 H10 H11 H12 H16 H19